

気象台からの話題提供

「顕著な大雨に関する気象情報」の改善 (線状降水帯)

線状降水帯予測の改善スケジュール

・線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

情報の改善

令和3(2021)年

線状降水帯の発生をお知らせする情報
(6/17提供開始)



線状降水帯の雨域を楕円で表示

「明るいうちから早めの避難」・・・段階的に対象地域を狭めていく

令和4(2022)年～

広域で半日前から予測

来年度の予定

令和6(2024)年～

県単位で半日前から予測

令和11(2029)年～

市町村単位で危険度の把握が可能な危険度分布形式の情報を半日前から提供

今年度の運用

令和5(2023)年～

最大30分程度早く発表

令和8(2026)年～

2～3時間前を目標に発表

・線状降水帯の雨域を表示

「迫りくる危険から直ちに避難」・・・段階的に予測時間を延ばしていく

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

令和5年度の改善点

これまで：線状降水帯の発生をもって情報発表

→改善後：雨量予測も用いて、これまでより最大30分早く情報を発表

改善の効果（運用開始当初との比較）

改善点①

令和5年6月2日6時5分の奈良県気象情報において近畿地方内で線状降水帯の発生の可能性について半日前からの呼びかけを実施。

（運用開始時は半日前の呼びかけは実施出来なかった）

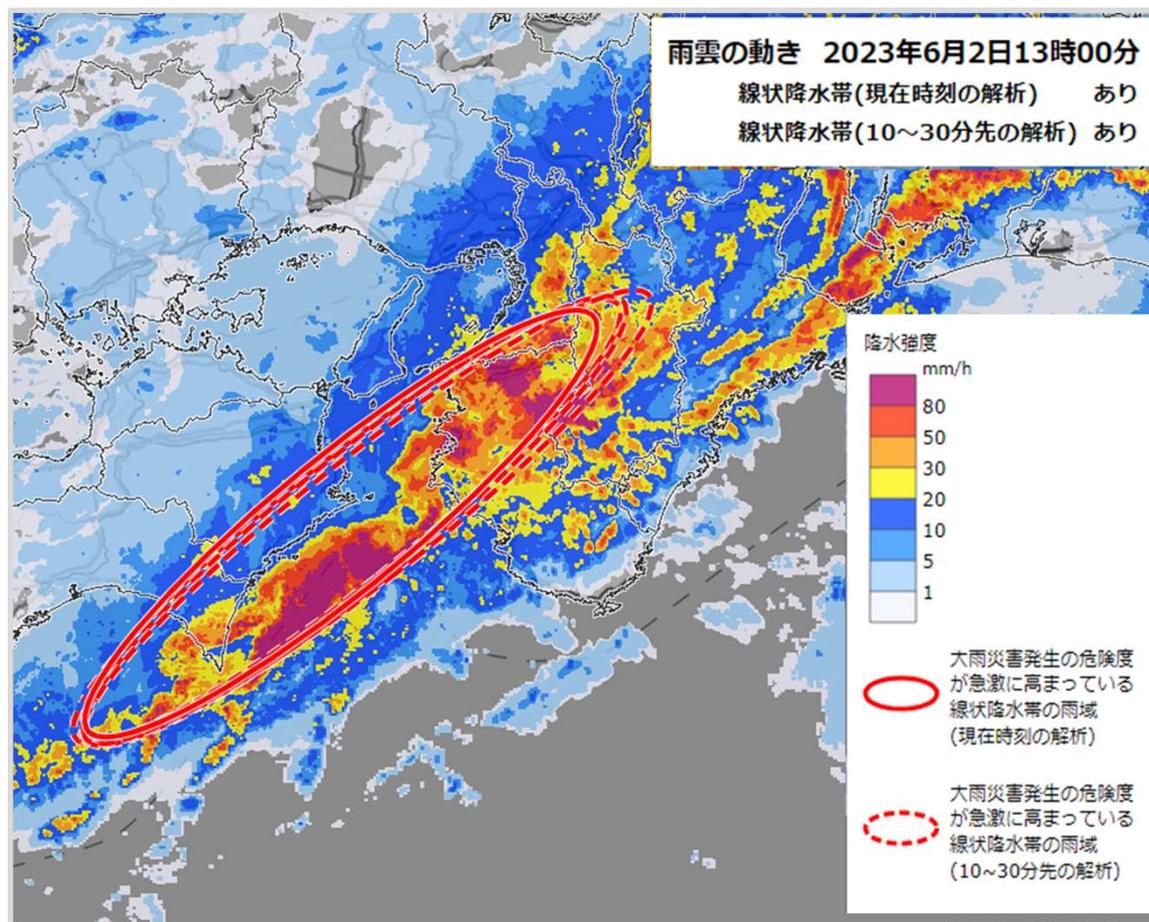
改善点②

13時10分に情報発表。

これまでの発表時刻は
13時50分になる。



これまでより
早く情報発表



来年度の改善の予定（現状との比較）

改善点

令和5年6月2日6時5分の奈良県気象情報において近畿地方内で線状降水帯の発生の可能性について半日前からの呼びかけを実施。

（呼びかけの範囲を地方単位から府県単位に絞り込む）

改善点②

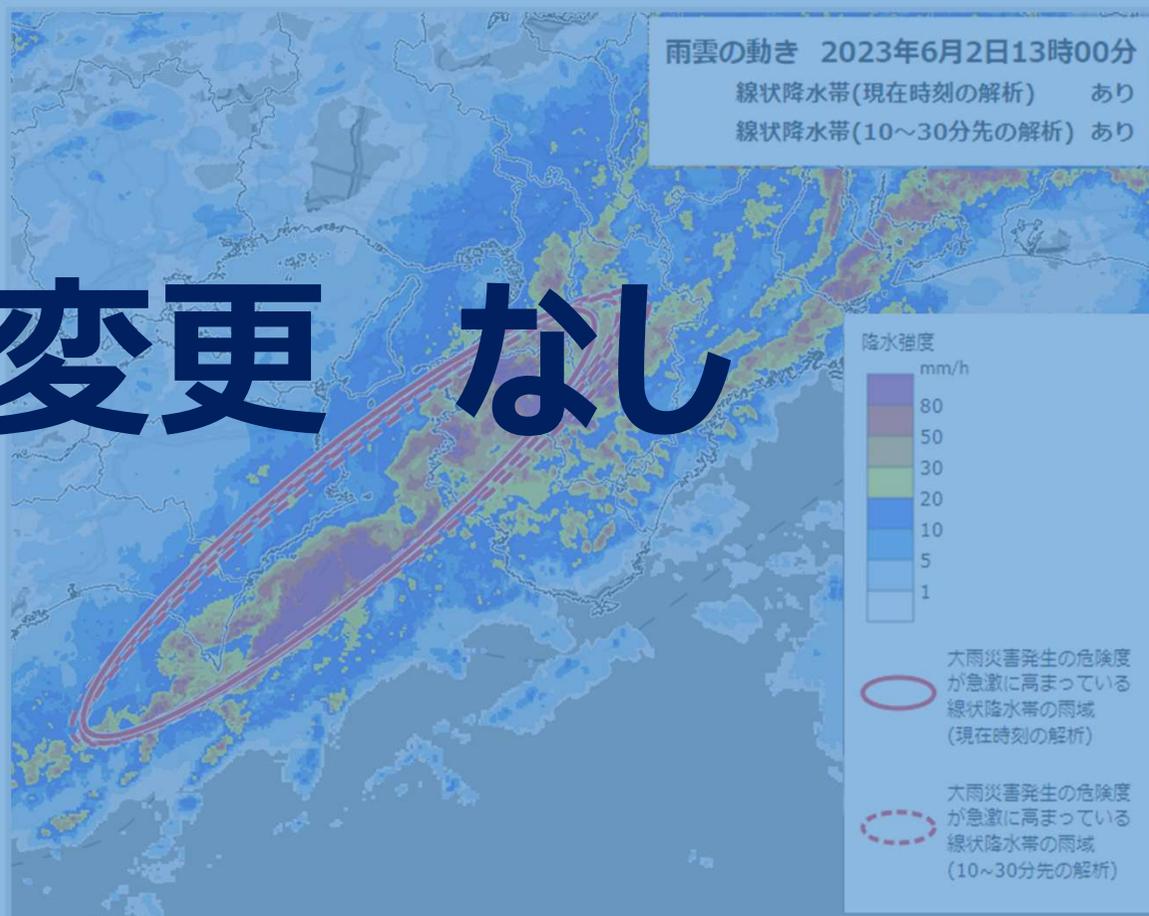
同日13時00分に30分先の予測で解析し、
13時10分に情報発表。

運用開始時の発表時刻は
13時50分になる。



運用開始時より
20分早く情報発表

変更なし



ご清聴、ありがとうございました。

防災気象情報についての疑問は、
いつでも気象台にお問合せ下さい。